

## (別紙5) 補助事業概要の広報資料

整理番号 2018P-043  
補助事業名 平成30年度 国際交流の推進活動 補助事業  
補助事業者名 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

事業の目的は、当会が主に活動するカンボジアで、日本の若者に教育支援活動の一端を担うボランティア活動（遊具建設・校舎の壁塗装）や国際交流の機会を提供することで、カンボジアの教育支援と日本人の国際理解促進といった、次世代を担う両国の人材を育成する目的で活動している。

#### (2) 実施内容

##### ◆ブランコ建設 (URL : <http://www.jhp.or.jp>)



プノンペン郊外のオグラトロケアット小学校にてブランコ1基の建設を3日間行った。ブランコの木材加工では男女問わず、電動ドリルを使ったり、座椅子を繋ぐ鎖をハンマーや万力を使い加工した。また、建設場所の校庭では、スコップで6個の穴を掘り、ブランコを固定するためのセメント作りも行った。完成した競輪マーク入りのブランコに子ども達が笑顔で楽しそうに乗っている。（奥側は昨日8月に建設した1基目のブランコです）

##### ◆校舎の内外塗装と贈呈式 (カンダール州)



カンダール州のコーキ中学校では、午前中に当会の支援者が寄贈したトイレの贈呈式に参加して文具寄贈も行った。午後からは先生や子ども達と一緒に校舎外壁と教室のペンキ塗りを行った。少しでも長持ちするように、窓枠を外し、サンドペーパーで錆を落として塗装した。

##### ◆現地大学生と交流・当会のプノンペンスタッフと意見交換会 (プノンペン市)



## (別紙5) 補助事業概要の広報資料

大学キャンパス内の教室で、お互いに国の料理を作り（日本の学生は、チラシ寿司。カンボジアの学生は、プラホック。）、食事をしながら楽しく交流した。夕方からは、カンボジアスタッフを交えての意見交換会で交流した。

### ◆児童養護施設訪問 (CCH)



子どもたちと歌やゲームなどで交流した後、日本のカレーで作ったカレーを子ども達と一緒に食べた。日本のカレーが大好きでお代わりにする子ども達もいた。

## 2 予想される事業実施効果

◆ブランコを作る目的は、遊び場としてだけでなく、子ども達が学校に通うことが楽しくなることにより、中途退学者が減少し、結果的に**就学率向上**に役立っている。

◆校舎のペンキ塗りは、先生や生徒と一緒に作業することで、校舎を大切に使うことと、綺麗に使うことで**衛生教育**の役割も果している。

また、カンボジアの地方の学校では電気が通っていない所が多く、ペンキを塗るだけで教室が明るくなり、勉強する**環境の改善**にも繋がっている。

◆現地大学生との交流や児童養護施設を訪問した彼らは、多くを**学び・体験**することで、日本との環境の違いを知ることができた。活動を通して彼らの**自己形成の場**としての役割を果している。

## 3 補助事業に係わる成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

活動報告書と活動記録集一式別添付 (URL : <http://www.jhp.or.jp>)

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

(トク ジェイエイチピー・ガッコウヲツクルカイ)

住 所 : 〒108-0014

東京都港区芝5-26-16 読売理工学院ビル6階

代 表 者 : 代表理事 小山内 美江子 (オサナイ ミエコ)

担 当 部 署 : 事務局

担 当 者 名 : 和田 勝則 (ワダ カツノリ)

電 話 番 号 : 03-6435-0812

F A X : 03-6435-0812

E - m a i l : wada@jhp.or.jp

U R L : <http://www.jhp.or.jp/>